

ESD（持続可能な開発のための教育）とは・・・ Education for Sustainable Development

環境、貧困、人権、平和、開発といった、現代社会の様々な課題を自らの問題として捉え、身近なところから取り組むことにより、それらの課題の解決につながる新たな価値観や行動を生み出すこと、そして、それにより持続可能な社会を創造して行くことを目指す学習や活動のことです。

ESD



推進セミナー 実践編

第1日目 2014. **10.16** (木)
13:15～15:15 (受付12:45～) 定員：50名

講演

テーマ：大人も子どもも元気になる持続可能な社会への学び
～ ESDの視点で地域づくり・人づくりを考える～

講師： ^{もり} 森 ^{りょう} 良 氏 NPO法人エコ・コミュニケーションセンター代表
「持続可能な開発のための教育の10年」推進会議 (ESD-J) 理事

第2日目 2014. **10.23** (木)
13:30～16:00 (受付13:00～) 定員：50名

事例研究

事例発表1	テーマ：多摩市が取り組む『2050年の大人づくり』について 発表者：多摩市教育委員会 教育部 教育指導課 指導主事 ^{なかに} 中谷 ^{あい} 愛 氏
事例発表2	テーマ：今、学校・家庭・地域が子どもたちのためにできること ～『チャレンジ手帳・ちよだっ子』の実践から～ 発表者：邑楽郡千代田町社会教育委員会 委員長 ^{かきぬま} 柿沼 ^{まさひろ} 正博 氏

参加無料ですが事前申込が必要です

※詳しくは裏面をご覧ください。

主催：群馬県生涯学習センター【ぐんま県民カレッジ主催講座】

◇講師・事例発表者紹介◇

森 良 氏 (NPO法人エコ・コミュニケーションセンター代表)

1949年東京生まれ。子どもたちの自然教室のボランティア活動を10年、環境教育・環境まちづくり・市民参加を促進するNPO活動を20年実践してきた。NPO法人エコ・コミュニケーションセンター代表、認定NPO法人「持続可能な開発のための教育の10年」推進会議 (ESD-J) 理事などを務める。学習院大学、大東文化大学非常勤講師。主な著書：『コミュニティ・インパクト (ECOM)』『もりもりファシリテーション (まつやま書房)』

中谷 愛 氏 (東京都多摩市教育委員会 教育部 教育指導課 指導主事)

平成8年より公立中学校英語科教諭。平成19年度から21年度まで、多摩市立東愛宕中学校勤務、論文「地球を生きながら英語力を高めるための指導・実践」で第11回東京新聞教育賞受賞。フルライト・ジャパン (日米教育委員会) 主催ESD日米教員交流プログラム参加。平成22年より多摩市教育委員会指導主事。現在、ESD推進のための研修事業などを担当。

柿沼 正博 氏 (邑楽郡千代田町社会教育委員会 委員長)

1959年千代田町生まれ。太田工業高校を卒業後、輸送機器や工作機器の部品を製造する家業に就いた。現在、株式会社 柿沼製作所 代表取締役社長。町子ども会育成会の副会長・会長を歴任し、地域青少年育成アドバイザーを務める。2006年から町社会教育委員長。『チャレンジ手帳・ちよだっ子』の発案者。



【文科省・環境省ESDコラボキャラクター】

◇会場：群馬県生涯学習センター4階第1研修室

◇対象：県民一般

☆社会教育関係職員 (社会教育主事)

☆各市町村 社会教育委員

☆学校教職員 (学社連携担当)

☆NPO関係者 (活動分野「地域づくり」「子どもの健全育成」等)

☆行政職員 (学校教育行政職員：学校支援センター推進担当)

☆大学関係者 (域学連携推進担当) 他

**このような方々に
おすすめですよ!!**

【申込方法】 電話・FAX・メール等で、開催日の2日前までにお申込みください。

①氏名 ②住所 ③電話番号 ④受講希望日 ⑤職業 (所属) ⑥年齢 (年代)
をお伝えください。

【申込/お問合せ先】

群馬県生涯学習センター「学習振興係」〒371-0801 前橋市文京町二丁目20-22
☎027-224-5700 FAX 027-221-5000 E-mail: mote-yoshi@pref.gunma.lg.jp

【ESD推進セミナー実践編】 申込用紙 FAX:027-221-5000

氏名		受講希望日 (いずれか1つに○)	
		①両日 ②10/16 (木) のみ ③10/23 (木) のみ	
住所 〒		職業・所属団体等	
☎	FAX	年代 (該当する年代に○)	
		10 20 30 40 50 60 70 80 90	

※ 上記の個人情報、本事業に関する連絡と個人を特定しない統計資料のみに使用します。